

令和7年10月21日(火)

サンビレッジ国際医療福祉専門学校

作業療法学科 2 年生が 施設実習に来ました。

令和7年10月21日(火)、サンビレッジ国際医療福祉専門学校の作業療法学科2年生6名が施設実習に来ました。はじめは緊張した様子でしたが、子ども達と活動を共にする中で、いつしか緊張もほぐれ、充実した実習になったようです。

また、次のような感想をいただきました。

- ・子どもの言動や行動に対して、指導者は否定せずに、まず共感することが大切だと知った。
- ・どの先生も、子どもに対して否定的な言葉や注意することなく活動を進めていた。また保護者と話をしながら子どもとも話をしていた、すごいと思った。
- ・最初は苦手な課題を先生と一緒にやるんだと思っていたが、実際は違って「子どもたちが楽しくない気持ちで参加するより、好きなことの中で自然と力を身に付けられる方がいい」と気がついた。
- ・子どもたちの「できない」に目を向けるのではなく、「できる」に目を向けて関わっており、私もそのような関わりができればいいと思った。
- ・褒めることで、子どもたちが「自分はできるんだ」という気持ちになり、達成感、自己肯定感が得られるし、その子の良い姿を真似して、みんなにも良い姿が広まることがわかった。
- ・特に見ていて驚いたことは、先生全員が同じ関わり方を徹底していて、連携が円滑だった。参考にしていきたい。